

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	38-3
PDCA	主要事業名		医療機器等購入事業		部課名		半田病院管理課			担当	稲葉
								内線			22-9881
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 3 - 2 単位施策： 半田病院										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 150,000 千円										
	会計		半田病院事業会計				歳出科目： 01.01.01				
	事業概要等		事業概要： 地域の中核病院として必要な高度医療機器の購入整備を計画的に行い、医療サービスの質向上を図り、専門的で適切な医療の提供を維持する。								
			事業目的： 医療機器を計画的に更新することにより、安全で安心な医療を提供するため。								
			事業内容： 高度医療機器の購入整備を計画的に行い、医療サービスの質向上を図るとともに、医療環境の変化に対応した医療機器等の整備を行う。								
			問題点・課題等： 新病院開院を視野に入れた計画的な機器更新が必要である。								
	予算額		主要事業とする理由								
	150,000 千円		中核病院としての機能を維持するために必要不可欠な事業であるため。								
	財源内訳										
	市費		得られる成果								
	63,944 千円		高度な医療機器を整備することにより、安全で安心な医療の提供が可能となり、医療の質の向上をはじめ、病院のイメージアップや病院収益の改善にもつながる。								
	国費										
	0 千円		目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位			
	県費		新病院で利用可能な高度医療機器の整備状況		実績値	12.5	14.2	－	%		
					目標値	12.5	14.2	15.0	%		
	その他				実績値						
			目標値								
			実績値								
			目標値								
86,056 千円											
D 得られた成果と	決算額		得られた成果								
	149,102 千円		昨年度に続き、半導体不足及びウクライナ戦争の影響があり、海外から医療機器メーカーへ機器及び部品の調達時期が不透明な状況が続いている。その上で、入手困難な医療機器の情報を得ながら計画的に医療機器の整備を進めることが出来た。								
			成果指標						令和4年度	単位	
			新病院で利用可能な高度医療機器の整備				実績値	15.0	%		
							目標値	15.0	%		
C 課題の整理	事業の評価・課題		B								
			新病院で利用可能な高度医療機器について、購入計画通りに整備することが出来た。								
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性		縮小								
			現病院における新病院で利用可能な高度医療機器の整備については、令和5年度末までの予定である。								
	観点別評価		必要性		有効性			効率性			
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献		大きい	⑦コスト削減	ある		
			②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地		ない	余地	※手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無		ない	⑧受益者負担適正化余地	ない			

目標項目（予算計上時に作成）									
予算見積書で活用									
評価項目（決算時に作成）									
主要施策の成果報告書で活用									